

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和6年2月20日

公表: 令和6年3月15日

事業所名 刈谷市立しげはら園

		チェック項目	はい	いいえ	職員からみた工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	18	1	<ul style="list-style-type: none"> ・利用定員内で療育できている。 ・福祉会館や遊戯室、中庭、屋上を利用している。 ・仕切りを使って個別空間を作っている。 ・ロッカーが10名分なので、増えた人数分は別のロッカーを置いている。 ・各指導室は生活するには十分である。遊戯室と中庭、園庭をクラス単位で利用することで、十分なスペースがとれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・法令を遵守して療育を行っている。 ・引き続き、安全に留意し、適切なスペースを、工夫したり心身障害者福祉会館の体育室、機能訓練室等を利用したりして確保していきます。
	2	職員の配置数は適切である	19	0	<ul style="list-style-type: none"> ・規定に合わせた職員配置がされている。また、職員が休暇を取っても療育には支障がない配置数である。 ・個別対応も行える配置になっている。 ・当日の職員数や子どもの出席数、姿に合わせて職員配置をしている。必要な場合は他クラスと連携して応援に入っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営規程上の職員配置を満たしております。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	19	0	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達に合わせ、絵カード、写真カード、スケジュールカードを使い、視覚的にわかりやすくしている。 ・3年間を通して個人のマークを変えず使用している。マークによりロッカーや椅子等、自分の物がわかりやすいようにしたり、子どもが自分で身支度をしやすいようにしている。 ・手洗い場の高さが少し高い。子どもに合わせ、台を置いて調節している。 ・姿勢保持の為に固定や補助の工夫(椅子等)をしている。 ・OT、PT、STIに相談しながら本人にわかりやすく構造化された環境を意識している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も子どもの視点で考え、過ごしやすい環境、安全な環境作りに努めていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	19	0	<ul style="list-style-type: none"> ・降園後、玩具や手の触れる場所等を消毒し清潔に保っている。 ・室内の温度調整や、こまめな換気を徹底している。 ・外から帰ってきた時や食事の前には、必ず手洗いをしている。 ・おもちゃを口に入れた際の消毒等をしっかり行っている。バスも消毒を毎日行っている。 ・衝立や空き部屋を使用し、落ち着けるスペースを必要に応じて作っている。 ・毎日、消毒や清掃は丁寧に行われている。 ・活動後は清掃業者が入り保育室やトイレの清掃を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、子ども達が清潔で、心地よく過ごせる環境を整えていきます。また子どもの動きを想定し安全に過ごすことができるよう配慮していきます。
	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	19	0	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの姿や個々に対しての日々変化する支援内容について、朝礼、終礼、会議等で全体に周知している。 ・行事や日々の療育等について会議や月指導計画にて目標設定や反省を行い、会議の内容について回覧し周知している。 ・朝礼、終礼、会議でクラスの活動や行事などに関する話し合いをして全職員に周知している。 ・職員同士よく声をかけ合っていて、業務改善を進めるために努めていると思う。 ・クラス間での話し合いの時間を作り、振り返り、改善や検討をしながら療育をしている。 ・会議で全体の反省を行ったり、改善点を話し合ったりすることができている。クラス間で話し合う時間を作り、振り返りと検討を行っている。 ・クラス間でよく話し合い(PDCAサイクル)、療育を行っている。必要な時は上司や専門家の意見も聞きながら行っている。 ・市の業務目標、指導計画、支援計画等、色々な場でPDCAサイクルを活用し実践している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、職員会議などで業務改善に向けての話し合いをし、職員全体の意識を高められるようにしています。また、広く職員が参画できるよう取り組んでいきます。

業務改善	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	19	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者へは結果を文書で報告している。 ・ホームページに公開している。 ・評価表により、保護者の意向を聞き、改善につなげている。 ・行事ごとにアンケートをとることで、保護者の意見や感想を聞き、次の行事や日々の療育に活かしていくよう努めている。 ・評価表の結果を職員で回覧し、意識したり改善したりできるように努めている。 	・今後も保護者等に対する事業所の評価を実施し、業務改善に努めていきます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	19	0	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価表及び保護者向け評価表の結果を集計して、全職員に回覧している。 ・ホームページで公開している。 ・保護者へは、結果を文書で報告している。 ・改善点について話し合いをしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、評価表の結果を全職員で周知し、改善の意識をもって療育できるように努めていきます。 ・引き続き、ホームページで公開し、どなたでもご覧になれるようにします。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	10	9	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者評価は受けていない。 ・行っていないが、外部から指導・指摘を受けたことに対しては、改善できるよう努めている。 ・市役所や他園との連携を行い、情報共有をして改善につなげている。 	・第三者評価は受けておりません。愛知県や刈谷市の行政監査等で指導・指摘を受け、改善につなげています。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	19	0	<ul style="list-style-type: none"> ・他施設へ研修に行ったり、園内で子どもの姿や療育内容について話し合う機会を設けている。 ・ケース会議、園内勉強会、近隣の市との研修会など様々な研修に参加できるようになっている。 ・園内研修や他施設との研修会で、情報交換をしたり、困っていることについて学べる機会がある。 ・ケース会議や、OT、PT、STとの連携も十分行われている。 ・ケース会議を行い、支援向上を図っている。 ・研修への参加は、どの職員にも均等に機会が設けられている。 ・園内研修、虐待防止研修等を定期的に行っている。 ・職員の経験年数に合わせた研修等の機会がある。 	・今後も園内研修を継続して行います。また、研修で学んだことを職員に周知し、共有することで、職員の資質向上に務めていきます。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	19	0	<ul style="list-style-type: none"> ・園で半日一緒に過ごしてもらい、家庭や園での子どもの姿や保護者の思いをもとに、保護者、児童発達管理責任者、担任間で話し合い作成している。 ・個別支援会議を行い、子どもの姿から保護者との話し合いをし、支援計画を作成している。 ・親子通園を通して、保護者の方とも話し計画を作成している。 ・担任同士で話し合い、意見をまとめたり、OTやSTもアドバイスをもらいながら計画を作成できている。 ・園長、主任、専門家等の話も取り入れながら作成している。 ・連絡帳でのやりとりや、親子通園での話し合いから、保護者の意向に沿った支援方法を考え計画を立てている。 ・保護者の話や園長、主任、児童発達管理責任者、担任、OT、PT、ST等様々な人から意見を集め、支援計画の作成をしている。 	・引き続き、適切なアセスメントを丁寧に行いモニタリングを行う中で子どもと保護者のニーズを汲み取り、支援計画を作成していきます。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	19	0	<ul style="list-style-type: none"> ・「遠城寺式発達検査」を年に2回、発達の記録を年に4回行って子どもの姿を把握している。 ・食事、排泄、身の周りの事や人との関わりについて細かく記録し、発達の記録を年4回行っている。 	・今後も「遠城寺式発達検査」を行うとともに、発達の記録を記入し、子どもの発達把握が的確にできるようにしていきます。また、他のアセスメントツールについても学び、必要に応じて活用していきます。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	19	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドラインを定期的に見直したり保育指針や教育要領も参考にして支援内容を設定している。 ・個々の発達に応じた支援内容を検討し、食事、排泄、着脱、遊び、対人などの項目で具体的に設定している。 ・児童発達支援計画では生活面と遊び面の2つの内容で計画が立てられている。子どもの姿に合わせた計画を立て、園長、主任、児童発達管理責任者、担任間で話し合い、保護者に提案している。 ・個々の発達に合わせた目標を立て、長期・短期と計画し、見直しをしながら設定している。 ・具体的な支援内容を考え、職員同士で共通理解できている。 	・今後も児童発達支援ガイドラインに基づき、提供すべき支援を適切に選択し、具体的な支援内容を設定していきます。また、家族支援、地域支援に関する内容の充実を図っていきます。

適切な支援の提供

13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	19	0	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達管理責任者の指導と援助を受けている。 ・定期的に、児童発達支援計画の内容を確認しながら、子どもの姿に合わせた支援を行っている。 ・計画に沿った支援ができるよう、担任間で支援計画の内容を共有し、同様の援助を行っている。 ・担任間で支援計画を共有し、共通した支援を行っている。また、必要に応じて再設定を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も子どもの姿を確認しながら、児童発達支援計画を基に、より良い支援が行われるように努めていきます。
14	活動プログラムの立案をチームで行っている	19	0	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスで相談して立案している。そこで意見を出し合うようにしている。 ・専門職からの助言を参考に、担任保育者間で活動を考えている。 ・言語療法や作業療法の機会を利用して、専門職からの助言をクラスにおろし、日々の療育に活かしている。 ・OTやSTとも相談して活動を考えている。 ・月案に基づいた活動を行っている。 ・担任間で子どもの姿に応じた活動を立案している。 ・音楽療法士とも協力して行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、担当保育士だけでなく、他職員、OT、STとも相談しながら、より良い活動が行えるように努めていきます。
15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	19	0	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの姿に合わせて活動プログラムを考え、改善し、様々な観点から目標を立てている。 ・制作、音楽遊び、季節の遊び、運動遊び、集団遊び、感触遊びなど、いろいろな活動プログラムを取り入れている。 ・OTやSTからのアドバイスも取り入れ活動を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたち一人一人に合わせて支援を工夫していく上で、職員の考えを共有する時間を設けたり、より良い活動ができるよう連携したりしていきます。
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成している	19	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日、全体活動を行っている。子どもの状況に合わせて活動を考えている。 ・子ども一人一人に合わせて支援し、生活習慣が身につくよう、また個人の課題に取り組めるよう個別活動を行ったり、友達との関わりやルールを知ることが出来るよう集団活動を行ったりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、子どもの姿に合わせて個別活動と集団活動でのねらいを立てながら、適宜組み合わせ合わせた活動を取り入れていきます。
17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	19	0	<ul style="list-style-type: none"> ・職員全体では朝礼時に各クラスの活動内容を伝え合って、園全体で把握できるようにしている。 ・担任間で、再度、活動内容や役割分担、支援方法等を確認している。 ・クラスの職員間で準備物等を細かく話し合っている。 ・毎日、朝礼で打ち合わせをすると共に、時差勤務の職員にも口頭や伝言ボードを通じて伝達している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、支援開始前には、具体的な打ち合わせをし、支援の内容や役割分担を共通理解して療育を行っています。
18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	19	0	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの姿についてや、食事、排泄の支援の仕方など、職員間で確認するようにしている。 ・当日の活動内容の反省や子どもの姿について話し合っている。休暇等でその場にはいない職員に対しては、翌日伝えるようにしている。 ・職員全体では、終礼時に子どもの姿や連絡帳での連絡について伝え合ったり、紙面に残して回覧したりしている。担任保育者間では、気になる子どもの姿に対しての支援や成長した姿等について振り返りに活かしている。 ・日々、振り返りを行い、必要なことは終礼で報告し、職員全体で共有を図っている。 ・園児降園後や午睡の時間等に支援の振り返りを行い、必要なことは終礼で報告している。 ・支援終了後はもちろん、気づいた時に声をかけ合い、共通理解ができています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々振り返りを行い、必要なことは職員全体に共有しながら、翌日の支援につなげていきます。
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	19	0	<ul style="list-style-type: none"> ・支援についての振り返りをして次の支援につなげている。 ・連絡帳に日々の子どもの姿を記録したり、担任間で子どもの姿について伝え合ったりしている。 ・月案にて活動の計画や毎週の反省を行い、改善策を考えている。 ・終礼で話し合った内容を記録し、翌日からの支援に活かせるようにしている。 ・特記事項は終礼で報告し、ケース記録に記入するようして翌日以降の支援に活かしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も記録を取ることで、子どもの姿を検証したり、支援の改善をしたりしていきます。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	19	0	<ul style="list-style-type: none"> ・年3回の親子通園の機会にモニタリングを実施して、計画について話し合っている。 ・個人の様子を担当が詳しく話すことで、共通理解ができていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、1年に3回のモニタリングを実施し、必要に応じて回数を増やしたり、支援の見直しをしたりしていきます。

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	19	0	<ul style="list-style-type: none"> ・状況を理解している職員が参画している。 ・その子のことを毎日見ている担任や定期的に見ている職員が参加して意見交換ができています。 ・児童発達管理責任者、園長、主任、担任等、必要に応じた職員が参画している。 	・引き続き、子どもの状況に精通した職員が参画していきます。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	19	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保健センター、子育て支援センター、子育てコンシェルジュ、相談支援事業所、幼稚園、保育園、児童発達支援事業所、小学校等と連携して支援している。 	・引き続き、関係諸機関と連携して切れ目のない支援をしていきます。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	19	0	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの様子に合わせて、地域の園と親子で交流保育をしている。自園の職員も同行し情報共有している。 ・個別で交流保育に行ったり、クラスでさくら保育園、住吉幼稚園との交流保育を行っている。 ・幼稚園に行つて過ごしたり、保育教諭が子どもの様子を見に来園したりしている。 ・定期的に交流保育等を行う中で、子どもの姿や園生活についての情報を伝え合い、共有している。 	・今後も子どもの姿に合わせた移行支援ができるよう、情報を共有して相互理解に努め、体制を整えていきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	19	0	<ul style="list-style-type: none"> ・就学予定の学校や特別支援学校教諭に子どもの様子を伝えたり実際に見に来てもらったりしている。 ・学校見学や体験に行き、必要に応じて園の職員も同行している。 ・入学後に、特に情報共有が必要な所へ訪問したり支援内容について情報共有や話し合いを行ったりしている。 ・就学に向けた講演会を実施している。 ・年に1回は、支援級や特別支援学校の先生が来園して情報共有を行っている。 ・特別支援学校見学会が行われている。 	・引き続き連携し、情報共有と相互理解を図っていきます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	19	0	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣五市で連携し、施設実習を行う中で、情報共有や支援向上を図っている。研修内容を全職員で回覧し周知している。 ・五市療育会などの研修に参加したり報告を受けたりしている。 ・ZOOMを活用し、他市状況や取り組みを知る機会がある。 	・今後も継続的に他の専門機関と連携し、情報共有したり、助言、研修を受けたりして、職員の資質向上に努めていきます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	19	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園児の訪問があり、甲冑行列を見せてもらった。子ども達も喜んでいました。 ・保育園、幼稚園の園庭に遊びに行ったり、室内の活動での交流も行っている。 ・定期的に交流保育を行ったり、クラスで他園に交流として遊びに行ったりしている。 	・週2日、近隣の幼稚園・保育園と交流を行っています。今後は、連携を取りながら、子どもの発達に合わせて活動内容を計画し、一緒に活動を行っていきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	19	0	<ul style="list-style-type: none"> ・園長、主任が参加している。必要な内容は職員に周知している。 	・定期的に開催される会議へ参加し、最新の情報を得たり、地域の動向を把握したりし、職員への内容の周知を図っていきます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	19	0	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の連絡帳や電話での対応、定期的な親子通園等の行事等の機会に、保護者と話し、情報を伝え合ったり、支援の内容について確認し合ったりしている。 ・連絡帳での情報、電話での確認などで悩み事、困り事などを共有している。 ・連絡帳だけでなく、登降園時や電話で、直接子どもの様子や相談について話し合う機会を作っている。 ・毎日の連絡帳や年に数回の親子通園で、細かく共通理解ができています。 	・今後も連絡帳や親子通園等、保護者と子どもの姿を伝え合う機会を大切にし、共通理解を図りながら支援を行っていきます。

保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	19	0	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭支援プログラム(父親参観、両親講演会、きょうだい児の話など)を実施している。 ・父親座談会、両親講演会など、子どもとの関わり方、遊びなど話し合う機会を作っている。 ・子どもだけでなく、保護者の様子も気にかけて、その都度話し合い(対応)できている。 ・講演会、父親参観は土曜日に行い、母親以外への支援もできるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者のニーズに合わせて支援を行ったり、研修会等を実施したりしてきました。今後は、ペアレント・トレーニング、父親向け、きょうだい児等、多様な支援ができるよう計画していきます。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	19	0	<ul style="list-style-type: none"> ・入園児に丁寧な説明を行い同意を得ている。 ・保護者からの問い合わせに対して、その都度対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、丁寧に説明を行い、安心して利用できるように取り組んでいきます。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	19	0	<ul style="list-style-type: none"> ・親子通園で、実際の療育の場面を見せられ、その後、計画について話し合い、同意を得ている。 ・親子通園時に、具体的な内容を示しながら支援内容の説明を行い、同意を得ている。 ・家庭と園でそれぞれで実践しやすい支援内容を計画している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援ガイドラインに基づき、児童発達支援計画を作成しています。引き続き、具体的な子どもの姿や支援内容を示しながら説明を行い、同意を得るように努めていきます。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	19	0	<ul style="list-style-type: none"> ・電話や連絡帳等で相談に応じた後、支援に反映させている。 ・言語聴覚士や大学教授等に個別に相談できる機会を設けており、専門的な助言を受けられる。 ・個別懇談会、クラス懇談会等で相談に乗ったり、職員間で話し合っ助言したりするようにしている。 ・保護者からの相談があった時には、担任、児童発達支援管理責任者、園長、主任等が助言や支援を行っている。 ・関係各部署と報告、連絡を取り合っている。 ・ST、OT、大学教授等、専門職の方との相談の機会を作っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、保護者の方が相談しやすい環境作りを目指し、適切な支援ができるように努めていきます。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	19	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会やOB会、クラス懇談会等を開催し、保護者同士の関わりが持てる機会を作っている。 ・通訳を呼び、外国籍の方同士で話し合える機会も設けた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・父母の会の円滑な活動の支援を行っています。また、保護者の方同士の繋がりがもてる機会が少しでも増えるよう取り組んでいきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	19	0	<ul style="list-style-type: none"> ・相談や申し入れに迅速に対応している。 ・速やかに上司に報告、相談し、必要に応じて専門職に相談し対応している。 ・電話で直接話す機会も設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、相談や申し入れがあった場合は、迅速かつ適切に対応できるようにしていきます。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	19	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月園だよりを発行している。 ・活動内容を写真で知らせている。 ・迅速に連絡する必要があるものは、きずなネットのメール配信で保護者に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の方への情報はわかりやすく、できる限り早めにお伝えできるように努めていきます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	19	0	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の名前が記載されているものを外に持ち出さないことを徹底したり、他の場で名前や情報を離さないようにしている。 ・鍵がかかる書庫に保管するなど、事務室でしっかりと管理し、慎重に取り扱ってきている。 ・市より、個人情報やセキュリティに関する研修やセルフチェックを受けている。 ・書類等、個人情報が見えないように取り扱いに注意している。 ・電子データはネットにつながらない回線で管理している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、個人情報の取り扱いに十分注意していきます。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	19	0	<ul style="list-style-type: none"> ・個々に合わせた伝達の方法の工夫をしている。 ・写真や絵カード、実物、タイムタイマー等を活用し、視覚支援を行っている。 ・外国籍の保護者へは、個別で電話や手紙で行事の件、手紙の内容をしっかりと伝えられるようにしている。 ・多言語対応の為、通訳者に来てもらっている。 ・伝わりにくいことは、電話や送迎時に話すようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も個々に合わせた意思の疎通や情報伝達の方法を、わかりやすくするための工夫や配慮をしていきます。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	19	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいの里作品展や夏祭りを開催している。 ・地域の中学生の職場体験や大学生の実習を受け入れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も行事を継続し行っていくとともに、地域の方々とつながっていけるような事業を検討していきます。

非常時の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	19	0	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練や防犯訓練を毎月行っている。 ・4施設合同の避難訓練も行っている。 ・マニュアルは目を通しやすい場所や手に取りやすいところに保管されている。 ・訓練ごとに話し合い、反省をして対応の改善を図っている。 ・避難訓練や不審者訓練等を行い、担任や職員の間で役割を決め、動きの確認をしている。 ・保護者向けの引き渡し訓練を行ったり、訓練の様子を園だよりで伝えたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、マニュアルを職員に周知し、様々な発生を想定して訓練を行っています。 ・各マニュアルの保護者への周知方法について検討していきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	19	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、様々な想定で避難訓練を行っている。前回の反省を活かして対応方法を試行錯誤するなどしている。 ・避難訓練を毎月行い、年に1度引き渡し訓練も行っている。 ・定期的に他事業所と合同訓練を行っている。 ・毎月、訓練と反省会を実施し、記録に残している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、毎月の訓練を行い、地震、火事、津波等の非常時に備えます。また、施設間で協力し合えるように合同の訓練も年に2回行っています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	19	0	<ul style="list-style-type: none"> ・入園時の面接時に確認している。健康の記録や投薬連絡表の記入をしてもらい、変更追加はその都度、保護者から伝えてもらっている。 ・入園後も面談にて確認をしている。 ・発作やアレルギー対応を、職員会議で職員に周知している。 ・家庭状況調査票や健康の記録などで状況を把握している。 ・保護者からの聞き取りで確認し、職員間で共有している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、子どもの状況把握及び適切な対応ができるように努めていきます。また、変更追加がある時は細かく確認をし、速やかに全職員に周知して、安全に過ごせるようにしていきます。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	19	0	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な園児がいれば、医師の指示書に基づき、アレルギー代替食を提供している。給食やおやつ配膳前の複数回チェックを徹底し、園長、栄養士、看護師、担任が確認している。 ・毎食、複数人でアレルギーチェックをしている。 ・食物アレルギー児の対策マニュアルに従って、日々、確認を何重にも行っている。 ・「しげはら園におけるアレルギー疾患生活管理指導表」を主治医に記入してもらい、食事や緊急時の対応を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、医師の指示書に基づき、マニュアルに沿って安全に食事提供を行っています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	19	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットの事例があった際には終礼で報告し、改善方法を含めて職員間で周知している。 ・ヒヤリハットの事例を読み、気を付ける点を知り、対応するようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、けがには十分に気を付け、ヒヤリハット事例は全職員に周知します。速やかに対応し、事故が起こらないように留意していきます。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	19	0	<ul style="list-style-type: none"> ・研修を行い、自身で振り返ったり確認したりしている。虐待防止法の研修を受けたり、各クラスの担任間でチェックをしながら、日々の療育を見直す機会を定期的に設けている。 ・年に3回行動確認表(虐待防止編)にてチェックし、適切な対応ができていないか確認している。 ・クラスで気をつけることを話し合い、職員で周知して、日々の療育の中で意識できるようにしている。虐待につながる可能性がある行動について探ったり、指導したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止委員会を設置し、研修を行ったり、定期的な行動を確認しチェックしたりしている。今後も適切な対応をしていきます。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	19	0	<ul style="list-style-type: none"> ・入園時にしっかりと説明をし、了解を得ている。 ・「日常的な身体拘束に関する同意書」に身体拘束の内容と目的を明記し、保護者に説明し了解を得ている。 ・子どもの安全確保のため、やむを得ない場合は保護者に説明し同意を得ている。 ・身体拘束の有無を毎日確認し、療育日誌に記入している。 ・重要事項説明書で保護者に説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も全職員で身体拘束についての認識を共有していきます。 ・子どもの安全を確保するためにやむを得ない場合は、報告書への記入と保護者への報告をさせていただきます。

〇この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計

公表 令和6年3月15日

アンケート期間: 令和6年2月1日～令和6年2月20日

事業所名 刈谷市立しげはら園

保護者等数(児童数) 回収数 25 割合 83%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	22	2	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭が使えなくなったが、屋内でも十分、体を動かすスペースが確保されていると思う。 ・園庭がなくなったのは残念。 ・園庭は今後ずっとないままなのか。 ・園庭が制限されている分、工夫してくれている。 ・工事で園庭がなくなっているが、他で工夫して遊ばせてくれている。 ・入口のスペースが広くとられていて良いと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭の代替えとし、近隣の公共施設を利用したり、幼稚園や保育園での交流保育を実施したりしています。 ・屋上、中庭も活用しています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	24	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・十分な人数だと思う。 ・適切だと思う。 ・配置数はわからないが、専門性はとても理解していると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働省が定める基準を遵守した職員配置をしています。子どもの状態や場面に応じて適切な職員体制をとっています。 ・保育士、言語聴覚士、作業療法士、理学療法士、音楽療法士など児童分野での経験と専門性を備えた職員を配置しています。 ・今後も研修や自己研鑽を通して専門性を高め適切な対応ができるよう努力していきます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	23	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の決まったマークがあるので、わかりやすい。 ・本人のマークを決め、下駄箱やロッカーにマークが貼ってあり、自分で荷物等を片づけられるように工夫してある。 ・一日の流れを写真で教えてくれたり適切だと思う。 ・子どもが落ち着いて過ごせるように、パーテーションの設置など環境を工夫してくれている。 ・絵カードやタイマー等の視覚支援をしてくれている。 ・子どもの動きに合わせた動線上の配置がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたち一人一人の特性に応じ、わかりやすい環境を工夫し、整えています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	25	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・換気もされていて、部屋も清潔にされている。 ・常に清潔に保たれている。 ・十分に遊べる空間になっていると思う。 ・心地よく過ごせる環境作りがされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、毎日の清掃、消毒を丁寧に行い清潔に保つようします。 ・定期的に換気をしたり、必要に応じて、消毒したりして、感染症対策に努めています。
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	24	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・しっかりと分析され、作成されている。 ・日々の課題がきちんと共有されていて、支援計画にも反映されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後もモニタリングを行う中で、保護者と子どものニーズを汲み取って計画を作成していきます。
	6 個別発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	23	0	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・その時の子供の状況に合った支援計画がしっかりとされている。 ・園での様子、家での様子を伝え合い、しっかりと話をした上で、適切な選択、具体的な設定がされている。 ・言葉の出ない子の場合、本当にその計画で良いのか、わからない時もあるので、その時その時で子どもをよく見て判断することが大事だと思う。 ・ガイドラインに沿って、項目別に内容が設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドラインに基づき、ご家族や子どもの現状に適した支援内容を児童発達管理責任者、担任、専門職員が検討し、必要な支援項目を具体的に盛り込み、支援につながるようにしています。ガイドラインのわかりやすい説明と周知に努めます。

保護者への説明等	7	個別発達支援計画に沿った支援が行われているか	23	1	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日しっかりと子どもに沿った支援をしてくれている。 ・本人に合った支援だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画に記載された支援内容を職員間、専門職員で共有し、支援を実施しています。
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	24	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日違う活動をして、工夫されている。 ・本人に合わせて、いつも新しい事に挑戦させてもらっている。 ・子どもに合った遊びを教えてくれる。 ・子どもの特性に合わせて工夫されている。 ・季節の行事が盛りだくさんで親も大満足。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き活動が固定化しないように子どもの発達や興味、目標に合わせて、専門職の助言を取り入れながら活動を工夫していきます。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	19	2	1	3	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に交流の機会がある。 ・子どもも楽しみにしているようなので嬉しい。 ・機会がない方が良いこともある。 ・年長児になったら回数は増えるのか、どのくらいの頻度で、具体的にどのように行われているのか気になっている。 ・散歩も含めて時々、近隣の保育園に行き、園児と交流できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の幼稚園、保育園での交流を、定期的(週2日)に実施しています。今後は、交流先の園と連携を図りながら一緒に活動する機会を作っていきます。 ・交流の様子について、園日より、連絡帳等でお伝えします。 ・個別に親子での交流保育を実施しています。
	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	23	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・十分な説明だった。 ・入園時に丁寧に説明があった。 ・契約説明の際に説明してもらった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・重要事項の説明と共に丁寧な説明を心がけます。また、翻訳した書類をご用意します。ご不明な点がありましたら、遠慮なくお尋ねください。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	23	0	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・いつもしっかりと丁寧に説明してくれている。 ・きちんと説明があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も児童発達ガイドラインに基づき、児童発達支援の提供すべき支援のねらい、及び支援内容について具体的にわかりやすく説明していきます。 ・必要に応じて通訳者を配置します。
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	23	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・困り事に対して、家での対応もアドバイスしてくれて助かっている。 ・様々な講演会等を開催してくれる。 ・毎年同じ内容のものではなく、その時々保護者のニーズも踏まえて内容を変えてくれている。 ・普段の園生活や個別STから、家庭でもできる支援のアドバイスをもらっている。 ・様々な講演会や多種プログラムを通じて、支援プログラム及びトレーニングの機会があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・親子支援プログラムを行っています。引き続き、保護者向け講演会、父親参観、クラス懇談会、療育相談等を通して保護者の方と一緒に子どもたちへの支援を考えていきたいと思っています。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	24	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時にその日の様子を細かく教えてもらっている。 ・良くない事ばかりを伝えられても責められている気持ちになる。 ・連絡帳を通してできている。 ・連絡帳に丁寧に書かれているので、わかりやすい。 ・連絡帳や親子通園で情報共有できている。 ・毎日、連絡帳で子どもの状況を伝え合っていて、とても助かっている。 ・日々気になったことは常に共有できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日、連絡帳や送迎時に子どもの状況を伝え合えるようにしています。子どもの成長を一緒に喜び合いたいと思っています。 ・今後も親子通園、行事等の際に情報共有を図ったり相談に応じたりしていきます。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	25	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・しっかりと行われている。 ・親身になって考えてくれている。 ・親子通園が頻繁にあるので、子どもの成長がわかりやすい。また、先生と面談があるので相談しやすい。 ・支援してもらっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も定期的に面談や育児に関するアドバイスができる機会を設けていきます。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	22	2	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・座談会や行事などで保護者の方と話す機会が定期的にあるので嬉しい。 ・外国人の方への伝達もしてくれる。 ・わかりやすく話してくれる。 ・園の先生が保護者会の手厚いサポートをしてくれるので心強かった。 ・保護者同士で話ができる機会が多く、情報交換したり、話すことで気持ちスッキリしたりと保護者の方の存在が心の支えになっている。 ・保護者会行事の茶話会や忘年会等で保護者同士のコミュニケーションも取れるように支援されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も保護者会の意向を尊重しながら保護者同士の連携が図れるよう取り組んでいきます。その都度、通訳者の配置をしていきます。

	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	24	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・相談事に対して、すぐに対応してもらっている。 ・仕事を始める際の相談に適切に対応してもらえて、とても助かった。 ・連絡帳へ相談を書くと、すぐに連絡をくれたり、いつでも相談してと言ってもらえる。 ・相談や質問に対して、毎回スピード感をもった対応をもらっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も迅速に丁寧かつ、適切な対応ができるよう努めます。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	24	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の連絡帳でしっかり共有できている。 ・十分されている。 ・毎日意思の疎通や伝達がある。 ・大きな行事の時、写真や動画で子どもの様子を見せてもらっている。 ・共有できるよう、常に考えてもらっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き子どもや保護者の方との意思疎通、情報伝達のための配慮や工夫に努めます。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	23	1	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、園だよりが配布される。 ・子ども達の活動も園だよりの写真などで見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間計画は4月に配布させていただいています。行事の詳細につきましては、できる限り早く、わかりやすく、お伝えできるように努めます。 ・自己評価の結果はHPIにて発信しています。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	23	0	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回、きちんとしたアナウンスがある。 ・個人情報の取り扱いについて詳しく知りたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も職員間で法令遵守について確認する場を設け、個人情報の取り扱いについては十分に注意していきます。 ・個人情報の取り扱いについて、契約時に丁寧にお伝えします。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	23	0	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練が実施されている。 ・実際に自宅で地震等、災害が起きた時のために、親も参加型の訓練も園で行ってほしい。先生達がどのように対処しているのか、参加して学びたい。 ・マニュアル策定および説明をもらっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種マニュアルを策定しております。周知、説明に努めます。 ・緊急時を想定した訓練(保護者参加の引き渡し訓練等)を引き続き行っていきます。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	23	0	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・行われている。 ・避難訓練をちゃんとできた、と本人も言っていた。 ・定期的な訓練がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の避難訓練は、継続して実施していきます。保護者の方も年に1回、引き渡し訓練への参加にご協力をお願いいたします。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	24	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・行き渋りがなくなり、楽しみにしていると思う。 ・子どもの口から「しげはら！」と声が出るほど楽しみにしているようだ。 ・とても楽しみにしている。 ・行き渋りもあるが、行くと楽しかったといつも言っている。 ・園に行った日は、たくさん遊べて機嫌良く帰ってくるので助かっている。 ・機嫌良くバス通園できている。 ・いつも楽しんで通っている。 ・毎日、楽しく通園している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもやご家族の思いを受け止め、しげはら園で安心して過ごせるよう努めます。ご心配な点がありましたらいつでもご相談ください。
	23	事業所の支援に満足しているか	24	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・園に通い始めてから体力的にも気持ちの面でもかなり楽になり、園の先生や保護者の方への感謝の気持ちでいっぱい。 ・もっとこのような事業所が増えてほしい。 ・子どもに合った支援をしてもらい満足している。 ・子どもが楽しく通ってくれて、毎日安心して子どもを預けられる。 ・安心感があり、相談にも乗ってくれ、改善点も一緒に模索してくれて助かっている。 ・子どもだけでなく、親にも寄り添った丁寧な支援で大変満足している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの最善の利益を尊重し、保護者の皆様の意見を大切にしながら、適切かつ丁寧な療育を行っています。 ・子どもたちが安心して、笑顔が溢れ楽しく通える園を目指し、職員一同で取り組んでまいります。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。